

テーマ

地域創生を志す高校生育成のための地域課題解決型キャリア教育

目標

ふるさとの歴史や文化を学び、地域社会と自己の有り様を見つめなおすことで、ふるさとへの愛着と誇りを養う。
多様な人との協働を通し、ふるさとの課題を発見・解決法を模索することで思考力を育成し、地域貢献、引いては地域の未来を担う意識の向上を図る。

育成したい
資質・能力

自己の生き方と社会との
関わりを主体的に見出す力

ふるさとへの誇りと
将来を担う志

ふるさとへの愛着と
地域貢献意識

問題発見・課題解決能力の育成
(思考・判断・コミュニケーション力)

外部連携機関
(行政機関・事業所)

- 島原市役所都市整備課
- 長崎県工業連合会
- 島原半島若者定着推進協議会(島原振興局)
- 長崎県警察本部生活安全部
- 島原半島内企業

連携

協働

長崎県立島原工業高等学校

(機械システム科・電気電子科・建築技術科1・2・3年、生徒数 名)

ふるさと教育連携協議会

[委員長] 校長 [副委員長] 教頭

教務主任、各学科主任 生徒指導主事 進路指導主事、生徒会指導主任 各学年主任、保健部主任 教育相談部主任 キャリアサポートスタッフ

<主な取組>

- 1年 教科学習を通じたふるさと教育
 - (1) 民間講師を通じた地域企業の取り組みや産業特色の理解
 - (2) 地域資産(史跡・文化・自然)の理解と活用
 - (3) 地域行政や地方自治の学習を通じた課題の発掘
- 2年 進路研究を通じたふるさと教育
 - (1) インターンシップ・企業説明会を通じた地域理解
 - (2) 企画振興課の助言等による地域課題の明確化
 - (3) 県内企業訪問による職員の地元理解・生徒へのフィードバック
- 3年 課題研究を通じたふるさと教育
 - (1) 専門家や市役所、企業など地域活性化に取り組む団体との連携
 - (2) 地域課題解決に向けて、グループで協働して解決策を研究
- 行事を通じたふるさと教育(地域清掃・地域探索)

成果指標

- | | |
|--|-----|
| (1) ふるさと(島原半島・長崎県)への理解・知識が深まった生徒の割合 | 85% |
| (2) ふるさと(島原半島・長崎県)へ貢献したい意欲が高まった生徒の割合 | 85% |
| (3) 協働し、主体的に問題解決を図る力を身に付けた生徒の割合 | 85% |
| (4) 地域の課題や地元企業への理解、および、生徒への指導機会を持った職員の割合 | 85% |

外部連携機関
(大学・専門機関)

- 長崎大学
- 島原半島内小中学校

連携

協働

地域社会(保護者を含む住民、産業、文化、歴史等)